

ndc8・ndc9データ一覧(暫定版2019/02)

本資料は、ndc8およびndc9データ(turtleファイル)に使用されている語彙を列挙し、説明および補足を加えたものである。

参考として、MetaBridgeの統制語彙として登録されているndc8・ndc9の語彙の表示についても補足する。

ndc8・ndc9は、国立国会図書館および日本図書館協会によるNDC-LD共同研究(2015-16)の成果として作成されたものであり、以下も参考にされたい。

参考: データモデル(NDC-LD共同研究成果報告会配布資料): <http://lab.ndl.go.jp/cms/sites/default/files/handout3.pdf>

<参照URI>

@prefix rdfs: <<http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>>

@prefix xsd: <<http://www.w3.org/2001/XMLSchema#>>

@prefix dct: <<http://purl.org/dc/terms/>>

@prefix skos: <<http://www.w3.org/2004/02/skos/core#>>

@prefix xl: <<http://www.w3.org/2008/05/skos-xl#>>

@prefix ndl: <<http://ndl.go.jp/dcnld/terms/>>

@prefix ndlsh: <<http://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/>>

@prefix ndc9: <<http://jla.or.jp/data/ndc9#>>

@prefix ndc: <<http://jla.or.jp/data/ndc#>>

@prefix ndcv: <<http://jla.or.jp/vocab/ndcvocab#>>

(1)一般の分類項目リソース <<http://jla.or.jp/data/ndc8#xxx>> <<http://jla.or.jp/data/ndc9#xxx>>

語彙	説明	補足	MetaBridgeに関する補足 ○印は表示あり。△印はダウンロードデータにあり。
rdfs:type	分類項目の種類(表の種類)	<p>分類項目の種類(4つの表の種類)を示す ndcv:MainClass…類目(第1次区分 1桁) ndcv:Division…綱目(第2次区分 2桁) ndcv:Section…要目(第3次区分 3桁) skos:Concept…細目、機械生成した分類項目</p> <p>NDCは分類記号法として十進法を使用しており、基本的に数字の桁数によって主題の階層関係を表現している。 冊子体は、1桁の類目表からもっとも詳細な細目表まで4つの表を収録している。 MRDFは細目表のみのデータであるが、NDC8/9データは、各表の分類項目をリソースとし、各分類項目の概念的な階層関係を表現している。 階層関係の表現等については、NDLサイト「日本十進分類法のLinked Data形式化に係る共同研究」(http://lab.ndl.go.jp/cms/?q=ndcld2016#thema) 掲載資料参照</p> <p>例1: ndc9:1 a ndcv:MainClass ; 例2: ndc9:13 a ndcv:Division ; 例3: ndc9:133 a ndcv:Section, skos:Concept ; 例4: ndc9:133.3 a skos:Concept ;</p>	○「その他」にURI表示 rdfs:type
skos:inScheme	NDCの版次	<p>分類項目のNDCの版次(新訂8版または新訂9版)を示す NDC8版 skos:inScheme ndc8: ; NDC9版 skos:inScheme ndc9: ;</p>	△
skos:notation	分類記号	<p>分類項目に与えられているNDC分類記号 例=375.32: skos:notation "375.32";</p>	○「その他」に表示 skos:notation
rdfs:label	文脈付き分類項目名	<p>分類項目名が、そのみでは文脈を判断できない場合に、上位階層の分類項目名を--で連結し、意味的な位置づけを把握しやすした名称(資料3を参照) 例=375.32: rdfs:label "教育課程. 学習指導. 教科別教育--社会科教育--歴史";</p> <p>分類表上になく、相関索引またはNDLSHから機械生成した分類項目名の文脈付き分類項目名は、()に入っている 例=:334.4272: rdfs:label "(人口. 土地. 資源--アラビア人(イラン在留))";</p>	○「ラベル」に表示 rdfs:label
skos:prefLabel (言語タグjp付)	分類項目名	<p>分類表上の分類項目名 例=375.32: skos:prefLabel "歴史"@ja ;</p> <p>分類表上になく、相関索引またはNDLSHから機械生成した分類項目名は、()に入っている 例=:334.4272: skos:prefLabel "(アラビア人(イラン在留))"@ja ;</p>	○「その他」に表示 skos:prefLabel

skos:prefLabel (言語タグen付)	英文項目名	分類表上の英文項目名(分類項目名に対応する英文の名称。ただし、英文項目名を持つ分類項目は、要目レベルなど限定的) 例=334: skos:prefLabel "人口. 土地. 資源"@ja, "Population.Land.Resources"@en ;	○「その他」に表示 skos:prefLabel
ndcv:indexedTerm	索引語	分類項目の分類記号に対応する相関索引の索引語。MRDFには索引語のヨミもデータとして収録されているため、索引語の表記(xl:literalForm)とヨミ(ndl:transcription)を対にして表現する 例=375.72 ndcv:indexedTerm [xl:literalForm "歴史科(教科教育)"; ndl:transcription "レキシカ(キョウカ キョウイク)"],[xl:literalForm "歴史教育(教科教育)"; ndl:transcription "レキシ キョウイク(キョウカ キョウイク)"];	△ (dcndl:transcription skosxl:literalForm)
ndcv:structuredLabel	件名構造化ラベル	分類表上にない分類記号をNDLSHからとりこんで分類項目を機械生成した場合、その分類記号に対応する件名標目の表記(xl:literalForm)とヨミ(ndl:transcription)を対にして表現する。 例=334.4272 ndcv:structuredLabel [xl:literalForm "アラビヤ人(イラン在留)"; ndl:transcription "アラビヤジン(イランザイリユウ)"];	△ (dcndl:transcription skosxl:literalForm)
skos:note	①注記 ②関連分類項目名 ③注参照	①注記 分類項目に付されている各種の注記 例=185.9: skos:note "地理区分で細分できる", "個々の寺誌は, 各宗派の下に収める"; ②関連分類項目名 分類項目に関連する名辞を示したもの。データ上、「関連分類項目名:」を前置することで、一般の注記と区別する 例=374.7: skos:note "関連分類項目名:校地, 校舎, 運動場, 学校園, 学校環境, 学校植林, 学校防災" ③注参照 他の分類項目に収めたほうが適切な事項について、→を用いて適切な分類項目の分類記号を参照先として示したもの 例=374.1: skos:note "学級文庫→017.2"; データ上、rdfs:seeAlsoによって、参照先URIを示す	○「その他」に表示 skos:note
rdfs:seeAlso	注参照の参照先	注参照(前項参照)に、→で示された参照先分類記号の分類項目のURIを示す 例=374.1: rdfs:seeAlso ndc9:017.2 ;	△
skos:related	「をも見よ」参照先	分類項目に付されている「をも見よ参照(→:)」の参照先分類記号の分類項目のURIを示す 例=361.4: skos:related ndc9:140 ;	△
skos:broader	上位分類項目	上位の分類項目のURIを示す 例=361.4: skos:broader ndc9:361 ;	○「上位語」にURI表示 skos:broader
skos:narrower	下位分類項目	下位の分類項目のURIを示す 例=361.4: skos:narrower ndc9:361.41, ndc9:361.42, ndc9:361.43, ndc9:361.44, ndc9:361.45, ndc9:361.46, ndc9:361.47, ndc9:361.48	○「下位語」にURI表示 skos:narrower
ndcv:source	記号合成情報源	分類表上になく、機械生成された分類項目リソースの発生源を示す ①相関索引の索引語から機械生成したもの 例=291.0173 ndcv:source ndcv:reindex ; ②NDLSHの件名標目から機械生成したもの 例=290.7 ndcv:source ndcv:ndlsh ; ③分類表上の分類記号に補助表の記号を付加して記号合成したもの(資料4参照) 例=291.1 地理区分 ndcv:source ndcv:aux_c2 ; 言語区分 ndcv:aux_c4 言語共通区分 ndcv:aux_c5 文学共通区分 ndcv:aux_c6	△

dct:isVersionOf	版次なし分類記号	版次を指定しない分類記号 (版次に関係なくNDC分類記号を参照した場合、ndc9にリダイレクトするようなシステム設定を想定) 例=361.4: dct:isVersionOf ndc:361.4 ;	△ (dcterms:isVersionOf)
skos:relatedMatch	関連NDLSH	分類項目に与えられている分類記号が、NDLSHの件名標目に付与されたNDC代表分類に合致する場合、当該件名標目のURIを示す(ndc8にはなし。また、NDLSHとの関連付けは、共同研究を実施した2015年時点のものである。) 例=361.42: skos:relatedMatch ndlsh:00566002, ndlsh:00566371, ndlsh:00567705	△
skos:topConceptOf	最上位項目	当該版次のNDCの最上位の分類項目(0総記(類目))のみに付与する 例=0: skos:topConceptOf ndc9: ;	△

(2)二者択一項目(別法項目)リソース <<http://jla.or.jp/data/ndc8#xxx>> <<http://jla.or.jp/data/ndc9#xxx>>

rdf:type	分類項目の種類(二者択一項目)	分類項目が二者択一項目であることを示す ndcv:Variant…二者択一項目 二者択一項目は、通常は使用せず、参照先として指定されている分類記号を使用する分類項目(図書館等の性格によっては別法としてこちらを採用可能) 分類表上は、分類記号は[]に入り、→で参照先分類記号が示される (例:[143.2] 幼児心理→376.11) 例: ndc9:143.2 a ndcv:Variant ;	○「その他」にURI表示 rdf:type
skos:inScheme	NDCの版次	分類項目のNDCの版次(新訂8版または新訂9版)を示す NDC8版 skos:inScheme ndc8: ; NDC9版 skos:inScheme ndc9: ;	△
skos:notation	分類記号	分類項目に与えられているNDC分類記号 例=143.2: skos:notation "143.2" ;	○「その他」に表示 skos:notation
rdfs:label	文脈付き分類項目名	分類項目名が、そのみでは文脈を判断できない場合に、上位階層の分類項目名を→で連結し、意味的な位置づけを把握しやすした名称(資料××を参照) 例=143.2: rdfs:label "発達心理学→幼児心理" ;	○「ラベル」に表示 rdfs:label
skos:prefLabel (言語タグjp付)	分類項目名	分類表上の分類項目名 例=143.2: skos:prefLabel "幼児心理"@ja ;	○「その他」に表示 skos:prefLabel
ndcv:variantOf	「を見よ」参照先	二者択一項目に対し、→で示された参照先分類記号の分類項目のURIを示す 例=143.2: ndcv:variantOf ndc9:376.11 ;	△
skos:note	注記	二者択一項目に付されている注記 例=336.6: skos:note "システム監査は、ここに収める" ;	○その他に表示 skos:note
skos:broader	上位分類項目	上位の分類項目のURIを示す 例=336.6: skos:broader ndc9:336	○「上位語」にURI表示 skos:broader
skos:narrower	下位分類項目	下位の分類項目のURIを示す 例=336.6: skos:narrower ndc9:336.61, ndc9:336.62, ndc9:336.63, ndc9:336.64, ndc9:336.65, ndc9:336.66, ndc9:336.67, ndc9:336.68, ndc9:336.69	○「下位語」にURI表示 skos:narrower
dct:isVersionOf	版次なし分類記号	版次を指定しない分類記号 (版次に関係なくNDC分類記号を参照した場合、ndc9(新しい版)にリダイレクトするようなシステム設定を想定) 例: dct:isVersionOf ndc:143.2 ;	△ (dcterms:isVersionOf)

(3)中間見出し・範囲項目リソース <http://jla.or.jp/data/ndc9#xxx_xnn>

rdf:type	リソースの種類(中間見出し・範囲項目)	中間見出し・範囲項目であることを示す skos:Collection…中間見出し・範囲項目 NDC9版には、記号を連結して範囲を示す項目が存在する。中間見出しは、同じ区分特性を有する分類項目の範囲を示す。範囲項目は、同じ形式で区分する分類項目の範囲を示す。中間見出しおよび範囲項目の分類記号は、分類付与には使用しない 分類表上は、中間見出しは/によって範囲とする記号を連結し、全体を<>に入っている(例:<016/018 各種の図書館>)。範囲記号は<>に入っていない URIでは、記号の連結に/は使用せず、_を用いる 例: ndc9:016_018 a skos:Collection ;	○「その他」にURI表示 rdf:type
skos:inScheme	NDCの版次	分類項目のNDCの版次(新訂8版または新訂9版)を示す NDC8版 skos:inScheme ndc8: ; NDC9版 skos:inScheme ndc9: ;	△
skos:notation	分類記号	中間見出し・範囲項目に与えられているNDC分類記号 例: skos:notation "016/018" ;	○「その他」に表示 skos:notation
rdfs:label	文脈付き中間見出し・範囲項目名	分類項目名が、そのみでは文脈を判断できない場合に、上位階層の分類項目名を--で連結し、意味的な位置づけを把握しやすした名称(資料××を参照) 例: <rdfs:label>図書館. 図書館学--各種の図書館</rdfs:label>	○「ラベル」に表示 rdfs:label
skos:prefLabel (言語タグja付)	中間見出し・範囲項目名	分類表上の分類項目名 例: skos:prefLabel "各種の図書館"@ja ;	○「その他」に表示 skos:prefLabel
skos:note	注記	中間見出し・範囲項目に付されている注記 例: skos:note "ここには、(1)公共図書館を除く館種別の経営管理を含む各種の問題、…";	○その他に表示 skos:note
dct:isPartOf	中間見出し・範囲項目の上位分類項目	中間見出し・範囲項目の上位の分類項目のURIを示す 例: dct:isPartOf ndc9:01 ;	△ (dcterms:isPartOf)
ndcv:memberRange	連結記号範囲	中間見出し・範囲項目が範囲とする最小の分類記号(xsd:minInclusive)と最大の分類記号(xsd:maxExclusive)を対にして示す 例: ndcv:memberRange [xsd:minInclusive 016 ; xsd:maxExclusive 019]	△
dct:isVersionOf	版次なし分類記号	版次を指定しない分類記号 (版次に関係なくNDC分類記号を参照した場合、最新の版にリダイレクトするようなシステム設定を想定) 例: dct:isVersionOf ndc:016_018 ;	△ (dcterms:isVersionOf)

* まれに、skos:related(「をも見よ参照」先)を有する場合あり